

Saitama University Fund



写真：埼玉大学 陸上競技部

埼玉大学基金

令和7年度
活動報告書



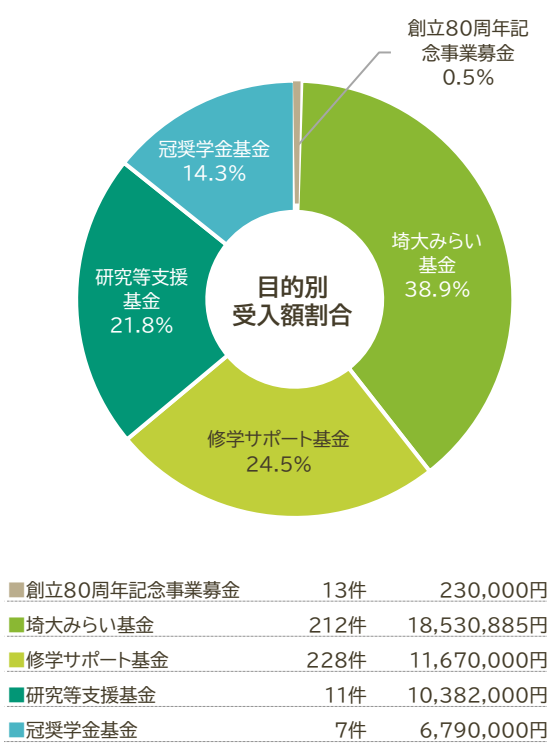
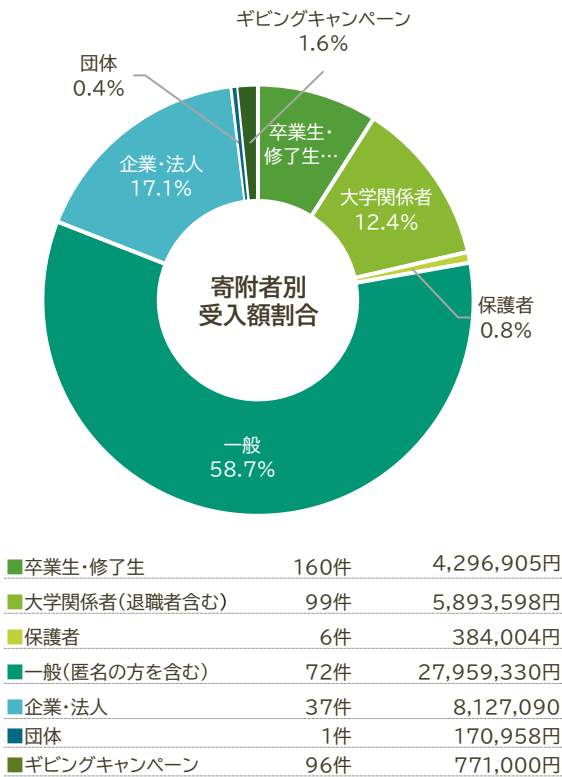
令和7年度受入の概要

ご寄附受入額

〈令和7年4月1日～令和8年3月31日〉

埼玉大学基金にあたたかなご支援を賜りまして、心より感謝申し上げます。皆さまからのご寄附は、目的の趣旨に則って有効に活用させていただいております。

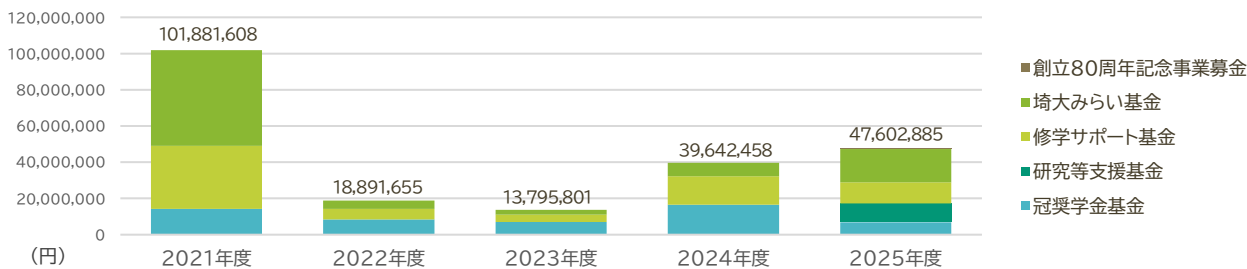
寄附受入件数 **471** 件 / 寄附受入総額 **47,602,885** 円



寄附受入額の推移

〈過去5年間〉

寄附目的	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計(円)
創立80周年記念事業募金					230,000	230,000
埼玉大みらい基金	52,854,216	4,708,774	2,755,515	7,419,958	18,530,885	86,269,348
修学サポート基金	34,727,392	5,782,881	4,000,286	15,722,500	11,670,000	71,903,059
研究等支援基金					10,382,000	10,382,000
冠奨学金基金	14,300,000	8,400,000	7,040,000	16,500,000	6,790,000	53,030,000
合計	101,881,608	18,891,655	13,795,801	39,642,458	47,602,885	221,814,407



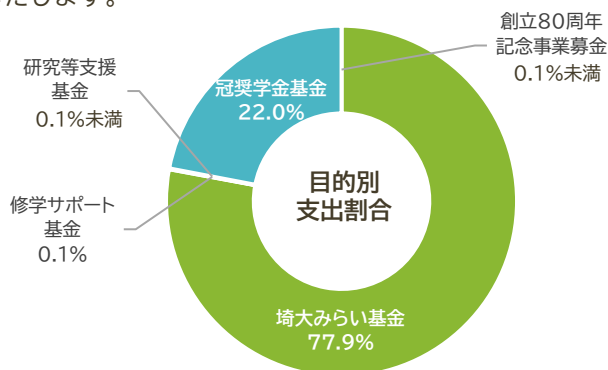
令和7年度の活動報告

支出合計 42,271,077円

〈令和7年4月1日～令和8年3月31日〉

皆さまから賜りましたご寄附は、教育・研究活動の充実をはじめとする各種事業に活用させていただきました。ご支援により実施した事業の一部をご紹介します。

目的	支出金額
創立80周年記念事業募金※	1,177円
埼玉みらい基金	32,937,232円
修学サポート基金※	27,220円
研究等支援基金※	5,448円
冠奨学金基金	9,300,000円
合計	42,271,077円



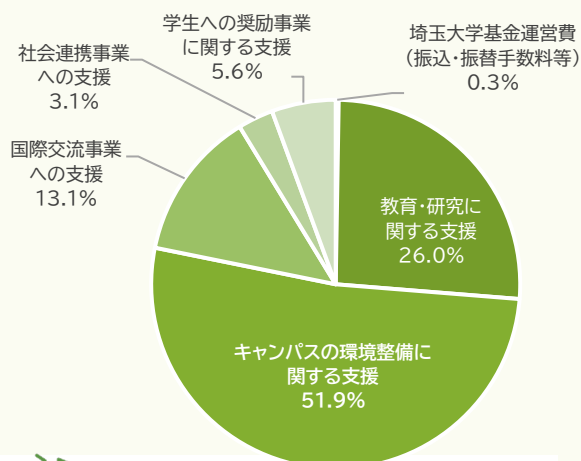
※創立80周年記念募金、修学サポート基金、研究等支援基金は、将来的に継続的かつ効果的な支援を行うため、現在は基金原資の確保・充実を優先しております。

埼玉みらい基金

皆さまから賜りましたご寄附は、大学の機能強化と学生への奨励事業として、下記の5つの事業に活用させていただいております。

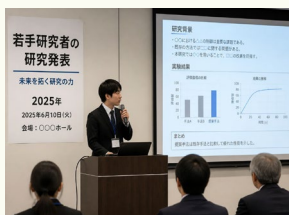
- 教育・研究に関する支援
- キャンパスの環境整備に関する支援
- 国際交流事業への支援
- 社会連携事業への支援
- 学生への奨励事業に関する支援

※ご寄附の際にご支援いただく項目をお選びいただけます。



活用事例

■教育・研究に関する支援



●若手研究者等への支援を行いました

若手研究者への基盤的研究経費の支援や、海外研究機関との共同研究・学術交流などの国際連携活動を推進しました。また、科研費不採択者に対する再挑戦支援を実施し、研究活動の継続と競争的研究資金の獲得機会の拡大を図りました。これらの取り組みを通じて、本学の研究力向上と国際化の促進、次世代を担う研究人材の育成に寄与しています。

●大学図書館の図書購入費を支援しました

学生からの購入希望や教員推薦本等、蔵書充実のため図書購入費を支援し、合計20冊が購入されました。

（購入リストは埼玉大学基金のHP内にてご報告させていただいております）

※この取り組みは「リサイクル募金」を活用したものです。



■ キャンパスの環境整備に関する支援

課外活動共用施設の照明設備のLED化工事を実施しました

これにより、省エネルギー化による電力使用量や光熱費の削減、環境負荷の低減、水銀使用製品の段階的撤廃を推進するとともに、施設内の照明環境が改善され、学生がより安全かつ快適に活動できる環境を整備しました。また、照明設備の長寿命化による維持管理負担の軽減にもつながり、持続可能な施設運営に寄与しています。さらに、学生が環境に配慮した設備に触れる機会を創出することで、SDGsや環境保全への意識醸成も期待されます。



■ 国際交流事業への支援

留学する学生の支援を行いました

学生の国際的な挑戦を後押しするため、留学支援を行いました。具体的には、海外留学を希望する学生に対し、必要な語学資格試験の受験費用の一部を補助するとともに、実際に留学を実現し、単位を取得した学生には奨励金を支給しています。これにより、経済的な不安を軽減し、意欲ある学生が積極的に海外に飛び立つ環境づくりを進めています。



■ 社会連携事業への支援

埼大学生広報サポーター活動の支援を行いました

令和7年度は、埼玉県議会、さいたま市、秩父商工会議所、そごう大宮店、未来屋書店と野店など多くの自治体、企業等との連携事業を実施しました。学生の活躍を支援するとともに、地域の活性化に貢献できる取り組みとなりました。

埼大学生広報サポーターとは

本学は、広報活動と地域社会との連携を一層推進するため、2022年10月に新たな取り組みとして、「埼大学生広報サポーター」を発足させました。当サポーターは、学生ボランティアで組織され、学生ならではの視点から大学の広報活動を行うとともに、自治体や企業、地域社会と連携し、教職員と協働でプロジェクトの企画立案や運営を行っています。



■ 学生への奨励事業に関する支援

● 梶田隆章賞を2名の学生に授与しました

梶田隆章賞とは

1981年の埼玉大学理学部卒業生で、2015年にノーベル物理学賞を受賞した梶田隆章先生（東京大学宇宙線研究所・卓越教授）の栄誉を称えて設けられたものです。賞の創設には、梶田先生の寄附金が充てられています。2017年度の創設以来、次世代の若手研究者の育成を推進することを目的として、学業において優秀な成績を収め、高い研究者への志を有する大学院進学予定の卒業生を表彰しています。



● 課外活動支援のためのGiving Campaign 2025に参加しました

本キャンペーンを通じて、本学の課外活動団体の魅力や活動内容を広く発信するとともに、卒業生や保護者、地域の皆様とのつながりを深める機会を創出しました。また、寄附や応援を通じた資金調達により、学生団体の活動に必要な経費の確保や活動環境の充実を図るとともに、継続的な支援の輪を広げることで、課外活動のさらなる発展につながることが期待されます。さらに、学生の主体的な活動を支える仕組みの構築や本学コミュニティの活性化に加え、課外活動を支援する文化の醸成にも寄与する取り組みとなりました。

冠奨学金基金

寄附者の方のご意向に沿う形で学生をご支援いただく制度です。埼玉大学基金の前身である埼玉大学発展基金で設立されたものを含め、令和7年度末現在、下記のとおり15件のご支援をいただいております。

- 大内新興化学工業奨学金 【設立順】
- 白楽ロックビル奨学金
- MARELLI奨学金
- エネグローバル奨学金
- 大栄不動産奨学金
- デジタルバリー奨学金
- 武島(志方)明子奨学金
- 高協基礎工事奨学金
- 祐昭奨学金
- 大志奨学金
- Max会奨学金
- ポーライト奨学金
- 三明インターナショナル奨学金(三明屋賞)
- SSRC奨学金
- 北川信一郎奨学金(R8年度給付開始)



エネグローバル奨学金(研究賞授与式の様子)



支援を受けた学生からたくさんの感謝の声が届いております。
その一部をご紹介します。



この度は、私たち学生の学びを支えるためにご寄附を賜り、心より感謝申し上げます。
このような温かいご支援により、奨学金というかたちで学修の機会をいただきましたことを、大変ありがたく感じております。
私は2年後から高校の音楽教員として勤務します。そのために、より高い専門性と教員としての資質・能力を身に付けたいと考え、大学院へ進学いたしました。大学院では、教育実践や音楽教育について深く学び、将来生徒一人ひとりに寄り添える教員になるため、日々学修に励んでおります。一方で、実家を離れて生活しているため、学費など費用面に不安を感じることもありました。そのような中、このようにご厚意によって支えられていることは、私にとって大きな励みになっております。このご支援への感謝を忘れず、今後も学修と研究に真摯に取り組み、良い教員となって社会に恩返しができるよう努力してまいります。あらためて深く御礼申し上げます。

祐昭奨学金 大学院教育学研究科 2年



この度はエネグローバル奨学金を授与していただき、心より感謝申し上げます。授与してくださった奨学金は教材費として使わせていただきます。

私は今年の4月で3年になり、社会へ出る時が着々と近づいていることを感じるため、残り少ない時間で大学の勉強だけではなく資格勉強や、興味ある分野の本を読むこと、プログラミングの大会に力を入れようと考えております。それには本の購入、資格試験への申し込み等でお金が必要となるため、金銭的な問題が苦しく、今回の奨学金が大きな支えになります。

今回のご支援を忘れずに残りの大学生活で努力に励み、社会で活躍できるような人材となって社会に貢献出来るようになりたいと思います。

この度は誠にありがとうございました。

エネグローバル奨学金 工学部 2年



学生からの感謝のこぼ



この度は奨学金のご支援をありがとうございます。

私は現在海外インターンシップと留学に向けて準備をしております。大学入学からこの秋までの間で沢山の講義を受講し、中学生の頃からの夢である国際協力の道に進みたいという気持ちが一層強まりました。今は英語の学習に力を入れており、最終的な目標は国際協力において現地の方の言葉に表れない気持ちを会話の中で気づき、寄り添えるようになることです。そのために英語スコアの目標を定め、試験を受けたいと考えているため、今回の奨学金は英語の試験に活用させていただきたいと考えております。また、もう一つの目標として、将来は子どもの教育に携わりたいと考えており、大学では教職の取得も目指しています。子どもと関わることのできるボランティアに参加する中で、交通費がかかることがあるため、その費用にも活用させていただきたいと考えております。このように私が目標に向かって行動できるのは奨学金のご支援をいただくことができたからです。温かいお気持ちに応えることができるよう、大学での勉学により一層精進していきたいです。

改めて、今回ご支援をいただきましたことに深く感謝申し上げます。

デジタルバリー奨学金

教養学部 2年

この度は、奨学金を賜り誠にありがとうございます。ご支援いただきましたことに、心より御礼申し上げます。

現在、私は理工学研究科において、非準等価ウイルス外殻の幾何学的制約に関する研究に取り組んでおります。本研究は、ウイルス構造形成原理の理解を通じて、生命現象の分子論的理解や医療分野への応用にも寄与し得るものであり、その意義を強く感じながら日々研究に励んでおります。博士後期課程進学後も、本研究をさらに発展させ、学術的な知見を創出し社会に貢献できるよう努めてまいります。

本奨学金により、研究活動により一層専念できる環境をいただき、感謝の念に堪えません。いただいた支援に応えられるよう、今後も精進していく所存です。末筆ながら、ご寄附いただいた皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

エネグローバル奨学金

大学院理工学研究科 2年

この度は、給付型奨学金という形でご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

将来は養護教諭となり、多様なバックグラウンドを持つ児童生徒一人ひとりに応じた支援や教育を行いたいと考えております。そのためには、自分自身が様々な経験を通して視野を広げることが重要であると考え、高校生の頃から現在まで、子ども食堂やフリースクール、定時制高校での学習支援などのボランティア活動に積極的に取り組んでまいりました。また、大学での学びに加え、小・中学校でのボランティアや実習にも真摯に向き合い、専門性の向上に努めております。大学外での活動を通して、自らに足りない視点や知識に気づき、多くの学びを得ております。特に、多様な背景を持つ児童生徒と関わる中で、発言や行動の裏にある思いや背景に目を向け、適切な支援を選択することの難しさと重要性を日々実感しております。

今回いただいた奨学金を励みとし、今後もこれらの経験を大切にしながら、一層学びを深めてまいります。改めて、温かいご支援に深く感謝申し上げます。

武島(志方)明子奨学金

教育学部 3年

この度は、奨学生としてご支援をいただき、心より感謝申し上げます。これまで大学に通う中で、学びたいという思いがある一方、経済的な不安を抱えることもありました。しかし、今回のご支援は大きな励みとなり、前向きに学業へ取り組む力をいただきました。いただいた奨学金は、大学での学費や教材費、通学にかかる交通費など、学修環境を整えるために大切に活用させていただきます。これからは、いただいたご厚意に応えられるよう、日々の学修により一層力を入れ、専門分野の知識と技術をしっかりと身につけていきたいと考えております。

将来は、社会に貢献できる技術者として成長し、誰かの役に立てる存在になれるよう努力を重ねてまいります。支えてくださる皆さまへの感謝の気持ちを忘れず、今後とも学業に励んでまいります。改めて、この度は貴重な機会を与えていただき、誠にありがとうございました。

高脳基礎工事業奨学金

工学部 3年



学生からの感謝のこぼ



この度は奨学生としてご支援をいただき、心より感謝申し上げます。いただいた奨学金は、学業に必要な教材費や資格試験の参考書・受験料、加えてゼミでのフィールドワークやプロジェクトに充てさせていただいており、経済的な不安を感じることなく学習に専念し、新しい経験をさせていただいております。

ゼミでは、先日企業の方や他大学と合同で進められていたプロジェクトにおいて、実際に展示会の実施を迎えました。これまで長い期間をかけて業界や企業の研究、消費者の視点を通じた展示会のブース設計や計画などが実を結び、文献研究だけでは得られない生きた知見を深めることができたと感じております。こうした貴重な経験を積めるのも、経済的な後ろ盾をいただいているおかげであり、深く感謝しております。

今後は、このフィールドワークやプロジェクトで得た経験を活かし、卒業時の研究などに繋げていきたいと考えております。将来は学業で培った専門知識を活かし、社会に貢献できる人材になれるよう、より一層精進してまいります。改めて、温かいご支援に心より御礼申し上げます。

大栄不動産奨学金

経済学部 2年

この度は奨学金をご支給賜り、誠にありがとうございます。心より御礼申し上げます。

本奨学金のご支援により、経済的な不安を軽減し、学業および研究活動に一層専念できる環境を整えていただきましたこと、深く感謝しております。

現在、私は通信分野に関する研究に取り組んでおり、日々課題と向き合いながら知識と技術の習得に励んでおります。本来であれば、経済的な制約により十分な時間や資源を確保することが難しい状況にありましたが、このようなご支援をいただけたことで、自らの目標に向かって着実に歩みを進めることができいております。また、本奨学金は単なる経済的援助にとどまらず、「期待に応えたい」という強い責任感と大きな励みを与えてくださるものでもと感じております。支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れることなく、学業に真摯に取り組み、将来は社会に貢献できる人材へと成長することで、ご恩に報いてまいりたいと考えております。

今後も一層努力を重ね、専門性の向上に努めるとともに、自らの知識や経験を社会に還元できるよう精進してまいります。改めまして、この度のご支援に深く感謝申し上げます。

ボーライト奨学金

大学院理工学研究科 2年

この度は奨学生として採用いただき、心より感謝申し上げます。

私の学業への姿勢をご評価いただけたことは、経済的な安心感以上に、研究へ向かう大きな自信となりました。給付いただきました奨学金は、申請時に計画しておりましたとおり、卒業論文作成のための専門書籍購入に活用させていただきます。高価で手の届かなかったこれらの書物を自身の蔵書として迎え、余白への書き込みや原書との対照を通じて、徹底的に思考を深められる環境を整えられることに胸が高鳴ります。

今回の温かいご支援は、私の知的好奇心を支える大きな力となります。御恩に報いるためにも、より一層学問に精進し、納得のいく卒業論文を完成させるべく全身全霊で取り組む所存です。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

デジタルベリー奨学金

教養学部 3年

この度は、奨学金を授与していただき、誠にありがとうございます。本奨学金は私の教材費や日々の通学での交通費として活用させていただいており、大学での勉学の大きなモチベーションとなっております。

私は現在、工学部環境社会デザイン学科に所属しており、街づくりに活用できる様々な知識を幅広く学んでおります。そして将来は、激甚化する災害に柔軟に対応できるような街の実現を目指し、大学での学びをさらなる自主学習により深めていき、大学院進学後は研究によってその学びを実社会に応用できるレベルにまで引き上げていこうと考えております。

今後も引き続き奨学生としての自覚を持ち、街づくり・地域開発に貢献できるような人材を目指して大学での学習に継続的に取り組んでいきます。

大栄不動産奨学金

工学部 2年